

放課後子ども総合プラン運営委員会等 からの報告について

児童クラブ及び放課後子ども教室について

名称	児童クラブ	放課後子ども教室
所管省庁	厚生労働省	文部科学省
目的	小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後に児童厚生施設等の施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業	放課後に市内の各小学校の施設を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設けるとともに、地域住民等の協力を得て、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するために行う
対象学年	1～6年生	実施箇所により異なる（1～6年生、4～6年生など）
活動日	月～金 授業終了後～19：00 土 8：30～18：00	実施箇所により異なる。月2～3回、年平均20回程度（主に木曜日実施）15：00～16：30
学校長期休業中の実施	あり	なし
実施場所	校舎内 7箇所 児童館内 1箇所 学校敷地内の専用建物 7箇所 学校敷地外の専用建物 1箇所	実施箇所により、図書室、多目的室、体育館、グラウンドなど
登録者数	1,903人（3.4.1） 2,203人（2.4.1） 2,076人（31.4.1） 2,039人（30.4.1）	356人（3年度当初 ※1） 279人（2年度当初 ※2） 619人（31年度当初） 532人（30年度当初）
従事者	所長 16人 指導員 23人 支援員 126人	安全管理指導員 149人
利用料	・5,000円／月（8月は8,000円／月）送迎時間による増減、多子減免等あり ・おやつ代（おやつを出しているクラブに限り、実費相当額）	・傷害保険料として800円／年 ・教材費として実費相当額
主な活動内容	・本読みや自習の時間 ・外遊びの時間 ・DVDを観る時間 ・自由な時間（カードゲームで遊ぶ、自習の続きをする等） ※学校長期休業中には、ボランティアによる屋外観察、工作活動等も実施	・工作 ・クッキング ・読書 ・読み聞かせ ・ゲーム ・外部講師による講座 他
課題	・待機児童を出さないように学校施設を借用するなどの方法で申込者は原則全て受入しているが、活動場所が複数に分かれることで運営に負担が生じている ・一部の児童クラブでは施設が手狭になっている ・配慮が必要な児童の増加 ・保育士経験、教員経験など様々なキャリアを経た人員が集まることについての規律確保及び従事者の資質の維持・向上	・指導員不足 ・開催回数は週1回が限度 ・後継者の確保
総合プランの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・従事者の確保（ボランティアの確保含む） ・場所の確保（現在は両事業がバラバラで実施しており、隣接もしていないため単純な統合が難しい場合が多い） ・メリットの明確化による利用者の理解の促進 	

※1 令和3年6月25日時点で登録が完了している13小学校分

※2 小牧南、小木、本庄を除く13小学校分

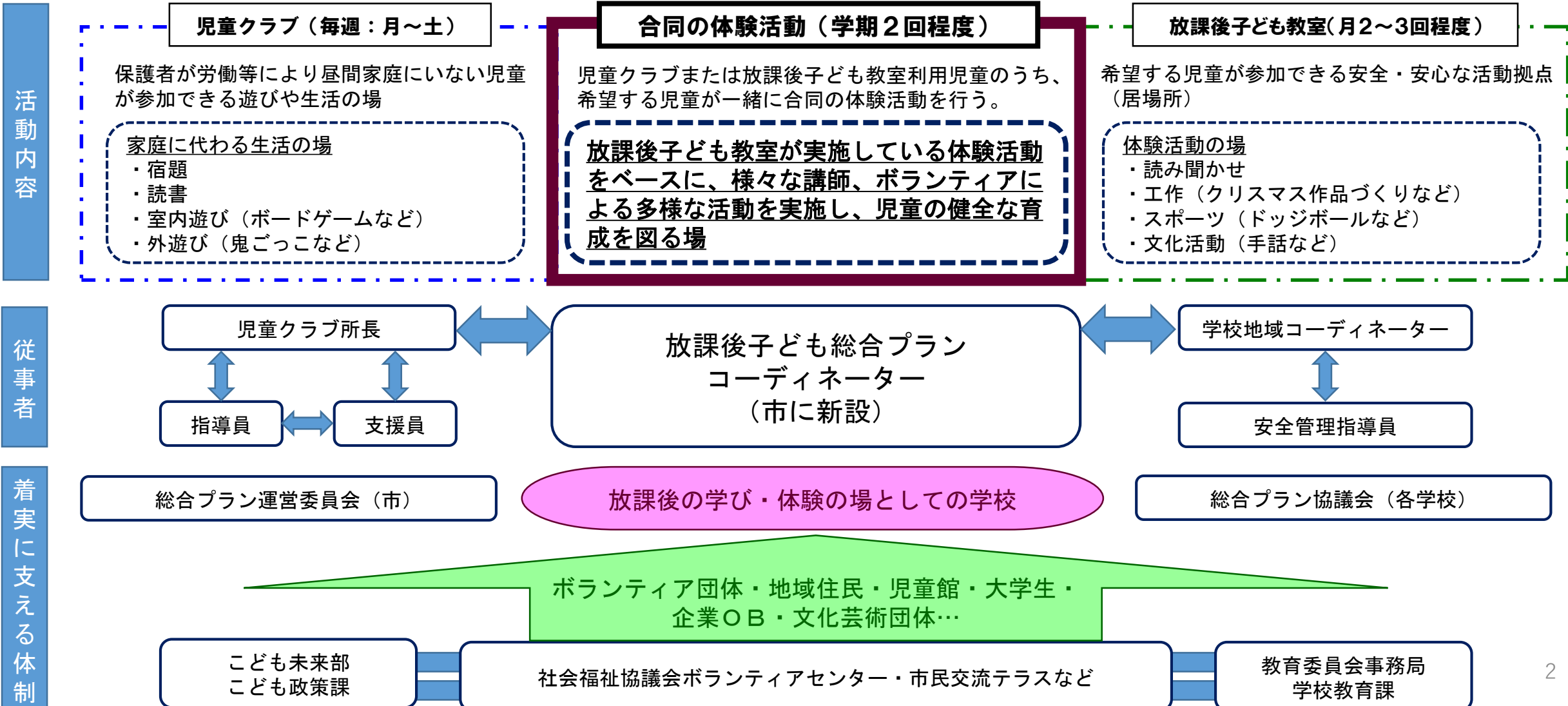
小牧市放課後子ども総合プラン

【小牧市放課後子ども総合プランが目指す姿】

すべての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、児童クラブと放課後子ども教室を一体的に運営し、児童にとってよりよい学びの場や居場所を提供する。

【小牧市放課後子ども総合プランの実施のステップ】

- ・「児童の放課後のあり方に関する検討部会」（平成30年6月から令和元年6月）
- ・「小牧市放課後子ども総合プラン導入検討委員会」（令和元年6月から令和2年10月）の提言を受け、現場の創意工夫と市及び地域ボランティアの支援により、令和3年度からのモデル事業を着実に進捗させる。



小牧市放課後子ども総合プラン導入検討委員会・運営委員会
検討スケジュール

【導入検討委員会】

委員会	年月日	内容
第1回	元年 7月 24日	主旨説明 意見交換 児童クラブ保護者負担金の見直しについて
第2回	10月 16日	課題の整理とモデル地区の要件の検討
第3回	11月 12日	課題の整理とモデル地区の要件の検討
第4回	2年 2月 18日	モデル地区の確定 児童クラブ保護者負担金の見直しについて
第5回	6月 3日	モデル事業の詳細設計（従事者、場所の確保、 利用料設定等）
第6回	7月 16日	モデル事業の詳細設計（従事者、場所の確保、 利用料設定等）
第7回	9月 1日	モデル事業の詳細設計（従事者、場所の確保、 利用料設定等）
第8回	10月 13日	モデル事業の内容まとめ（提言書まとめ）

※ 随時、こども・子育て会議に委員会の検討状況を報告

【運営委員会】

委員会	年月日	内容
第1回	3年 6月 2日	主旨説明 意見交換
第2回	3年 11月 24日	令和3年度事業の評価 令和4年度以降の事業実施地区の検討
第3回	4年 2月	令和3年度事業の評価 令和4年度以降の事業実施地区の確定

※ 随時、こども・子育て会議に委員会の検討状況を報告

令和3年度 小牧市放課後子ども総合プラン実施スケジュール

[令和3年]

[令和4年]

項目		6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
1	運営委員会	2														24										3 回 目						
2	協議会（学校 運営協議会）	小牧小学校														20																
		光ヶ丘小学校	調整中																													
3	合同の 体験活動	小牧小学校				15 折り紙				21		28				②⑤ 音楽鑑賞								調整中								
		光ヶ丘小学校		17 マジックショー（コロナで中止）								14 レクリエーション			④ 音楽鑑賞	2 サイエンスショー			20 茶道								3 読み聞かせ					
		関係者アンケート									→																					
4	児童クラブ従事者及び放課後子ども 従事者との情報交換会			25 29 30																												
5	令和4年度事業の対象校の選定															→																

※ 合同の体験活動のうち○付数字は、年に1回本格的な体験活動を行うものとして計画している日
両校とも体育館を借用し、外部講師による音楽鑑賞を実施する。

情報交換会①

「発表シート」まとめ

東部

6月25日(金) 10:00 東部市民センター 学習室

	①合同の体験活動についての意見	②その他、プランについての意見
篠岡小	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブは、早いお迎えの児童もいて、合同はやりづらい。 ・宿題をすることを希望される親御さんも多い。 ・教室の移動、引率が負担。 ・全員参加なら、合同が可能かも。 ・放課後子ども教室が一斉下校の日だけなので、学年をしぼって合同がやりにくい。(学校側の考え方による) 	
桃ヶ丘小	<ul style="list-style-type: none"> ・火曜は、1～3年(5時間)、4～6年(6時間) ・4時頃(児童クラブはおやつ)、児童クラブは60名 ・宿題(タブレット持ち帰り)の扱いはこれから検討。 ・合同の場所は、体育館か多目的室で考えられる。 ・講師代の余裕も、放課後子ども教室にはある。 ・月に一度の楽しみがあった方がよい。 ・学年で活動を分けた方がやりやすい。 ・(放)が1年生なら児クラブも1年生(長期除 25名) ・学年に分ければ可能かも。2年生と3年生も分けた方がよい。 ・児童クラブで体験できないことを体育館を借りての音楽あそび等やれたらいい。 	
本庄小	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、放課後子ども教室はお休みで9月30日開講予定。活動は木曜日、月2回程度。 ・児童クラブは人数が多い。合計119名。 ・児童クラブのおやつ(1、2年のみ)は、3:30～4:00、3～6年生は30名(スタッフ4名)なら、参加可能。 ・合同活動は、鑑賞の講座の方がよい。(手品、劇、音楽等) ・積み木、消防体験、実験型だと集中して活動できる。 ・体育館で活動 ・体験型だと、子どもが喜ぶ。 ・人数が多い場合、グループ分けしてもよい。 	
陶小	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブの児童が放課後子ども教室へ移動して進める。 ・放課後子ども教室の講座に児童クラブが合わせて参加してくれるようにする。 ・体育館や運動場で遊ぶようなものがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回試しにやってみるのがよい。
大城小	<ul style="list-style-type: none"> ・行方なら小学校で。(児童クラブでは大城児童館なので、難しい) ・木曜日、一斉下校の日。 ・児童クラブの参加児童は、そのまま放課後教室へ(1年～3年) ・場所は体育館で。まずは、学期に1回やってみる。 ・児童クラブの支援員は、子どもの人数によって決める。 ・内容は、できるだけ、講師の先生をよんでやっていただく形が望ましい。(特別感があると喜ぶ) ・終了後は、指導員が、児童クラブまで送っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・費用について ・実施にあたり、主にやっていくのが、どこか。 ・児童クラブの支援員、放課後子ども教室の指導員の共通理解、出欠の有無・など ・募集の仕方の検討

情報交換会②

「発表シート」まとめ

北里

6月29日(火) 10:00 北里市民センター 集会室

	①合同の体験活動についての意見	②その他、プランについての意見
村中小	<ul style="list-style-type: none"> ・参加回数や参加学年の違い ・安全、規律(児童クラブ)と体験、学び(放課後子ども教室)の目的の違い ・児童クラブと放課後子ども教室では、上記のような違いがあるので、体験の内容を話し合っすりあわせる(打ち合わせ)必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動にかかる費用は？ ➡合同体験に関わる材料などの費用は市で負担 ・人数は、上限を決めて、学年ごとなのか、希望内容なのか？ ➡学校の実情に合わせて、内容も学年も実施
小木小	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで全く交流がなく、活動内容も互いに分かっていないこともたくさんあり、活動内容の情報交換をした。 ・近いうちに児童クラブを見学させていただくこととした。 ・まずは、年1回、合同で開催日、内容等決定し、はじめていくこととする。(マジックショー等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで話し合い等をしたことがなく、未知の世界すぎたが、この話し合いで、やっとスタート台にたてたという感じです。少しずつ先生同士の交流も含め、これからです。
三ツ瀨小	<ul style="list-style-type: none"> ・終了時間が、児童クラブは決まっている。4:30なら大丈夫。 ・場所は図工室(ちゃお:放課後子ども教室) ・ちゃおに合わせて、4~6年を対象に合同体験を行う。 ・初回は、今年度10月14日に予定。 ・年に2回ぐらい実施。(手品ショーなどは低学年OK) ・児童クラブの子に学校を通して手紙を配る。 ・13:00~14:30ぐらいまでは、一緒に用意や説明を受ける。 ・運動を行う場合は保険の確認が必要(児童クラブ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ、放課後子ども教室にあう講師の紹介を。今もあるけど、より合うものを。 ・やるからには、楽しみたい。
北里小	<ul style="list-style-type: none"> ・里の子広場(放課後子ども教室)の開催が木曜日なので、一斉下校の多い火曜日にするか。ただ、時間割の都合もあるので学校との調整が必要。 ・終業式の午後に開催もありか。 ・指導員さんの日程確保、意見が必要。 ・児童クラブの方で、音楽会を以前やったときに盛り上がった。最後にダンシングヒーローを流したら、みんなでダンシング！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・人数も多い(合同なので)ので、体育館や多目的室を利用したい。 ・いきなり、学期2回はハードルが高いので、学期1回程度で様子を見ながらにしたい。 ・今回話をする機会があり、とてもよかった。いろいろな意見を聞いたので、不安ばかりだったが、前向きな考えになった。

おだやかな雰囲気、情報交換ができてよかった。
 安心・安全な場所で、子どもが楽しむ場であつたらいい。
 無理のないところで、やれる方向で、やれる方法で。
 内容、学年、講師など、それぞれの学校で話し合っ決めていく。
 材料費は、合同体験に関わるものは、市で支払う。
 児童クラブと放課後子ども教室担当者が、お互いに気楽に話せるよい関係で、市役所にも気軽に相談してほしい。
 楽しい活動ができれば、こどもの笑顔が見れたらいいなという気持ちでいこう。
 お互いの活動を見学するのもOK！お試しでやってみようもOK！
 従事者が、笑顔で仲良く進めることが大事。



情報交換会③

「発表シート」まとめ

味岡

6月30日(水) 10:00 味岡市民センター 学習室

	①合同の体験活動についての意見	②その他、プランについての意見
小牧南小	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブとしては、長期(夏休みなど)が希望だが、放課後子ども教室の時間帯に合わせる。 ・イベント時に参加。クラブの1, 2年生の希望者で抽選して参加する。今の放課後子ども教室の活動に、児童クラブの子が参加 ・イベントは、クッキング、運動会、工作など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き教室がない。
小牧原小	<ul style="list-style-type: none"> ・10月21日(木)で、合同体験を実施する。内容は、全盲のピアニスト(小島りょうさん)を講師に迎える。放課後20名、児童クラブは60名弱。15:30スタート。(40~50分くらい。)目が見えないことを想定して目を隠して聞くなど工夫する。リトミック、アイスブレイク、音でルール作りなどして、慣れてもらう。 ・体育館や外でやれること、ドッジボールなど、数が増えるので、チーム数が多くできる。 ・段ボール迷路、人間すごろくなどもできる。 ・令和3年は、まず1回。来年は、学期ごとに1回(年間2~3回くらい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブの指導員のみんなが、詳しく知っているわけではないが、体験活動については前向きに参加してくれそうです。 ・こういう企画に、校長先生、教頭先生の許可がいるか? ➡お知らせするとよい。総合プランのことは学校も承知済なので連携を。 ・講師謝礼は? ➡今年度は、放課後の講師謝礼をあてます。
味岡小	<ul style="list-style-type: none"> ・11月に行う予定の「すまいる祭り(放課後子ども教室)」に児童クラブの1, 2年生にきてもらう。そこでは、お店屋さんごっこのような企画を考えている。共通のお金を作ったり、児童クラブの方でも1つお店を出してもらう。 ・読み聞かせや、ペープサートの方を外部からよんで、合同お話を企画する。 ・学年別に日を分ける? 場所を分ける? 予算はどこから? ➡合同プランにかかる材料費は、市から払う。 ・「わいわいカーニバル」の縮小版みたいなイベントをいずれできればいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めは年間2回程度で進めていきたい。2学期以降始めるのが望ましいのではないかな。 ・人数的に、体育館でできることになる。コロナ禍なので、密にならないように考える。 ・初年度としては、「交流」できることを目的に。 ・予算は、どのように組まれるか? 材料費が必要な活動はどうすればよいか? <p style="text-align: right;">➡下記</p>
米野小	<ul style="list-style-type: none"> ・3, 4年生対象。放課後子ども教室の開催日木曜で実施。 ・児童クラブ、3, 4年生が50人ほどなので、募集方法が課題。(申し込みの時期など) ・体験講座なら、少ない指導員で子どもをみることができる。 ・本年度、お試してやってみて、流れや人数を把握する。 ・体育館でできるものなら、人数的に入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室が本年度から内容を変えて、まだ実施していないので、人数、流れがよめないのでは、はっきり言えなくて... ・体験講座でお試して、お勉強ラリーは大人数でできるというプランだが、まだやっていないので何とも言えない。
一色小	<ul style="list-style-type: none"> ・今のままでいい。 ・学期に1回程度実施。1学期は落ち着かないので、2学期から実施。 ・講座を限定し、場所は体育館等で行う。 ・児童クラブは、早い時間にお迎えの子は無理。 ・放課後子ども教室の予定を作るときに、児童クラブと一緒にできる講座をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所と人数。 ・毎回、3~5人の子を放課後子ども教室に受け入れる方法もある。

今年度の合同活動について

講師料・放課後子ども教室の講師謝礼金 ¥3,000を使う。

材料費・市に相談ください。市で払います。

小牧小と光ヶ丘小は、今年度モデル校なので、¥30,000の講師謝礼金がある。